

件名	令和4年度 第2回福井市障がい者自立支援協議会就労支援部会 報告書		
日時	令和4年12月2日(金) 10:30 ~ 11:30	会場	福井市役所第8会議室 A・B
報告事項	<p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆説明就労支援ガイドブックについて <ul style="list-style-type: none"> ・9月に更新を行った。各就労支援機関におかれては活用いただきたい。 ◆ワークフェア・セミナーについて <ul style="list-style-type: none"> ・9月にワークフェアが開催され、つぶやきの収集に協力いただいた。 		
協議事項	<p>2 協議事項</p> <p>(1) ネットワークミーティングの結果について…資料</p> <p style="text-align: center;">資料に基づいて説明</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中々事業所と関わる機会がなく、部会員として事業所の集まりに参加できるのは貴重な機会だった。事業所同士が集まって、こうしていこうと話し合ってくれるのは心強い。 <p>(2) 次年度以降の活動について</p> <p>部会員の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労系サービス事業所に希望調査を行った。移行支援事業所から2事業所、就労継続支援A型事業所から3事業所、就労継続支援B型事業所から3事業所選定する予定。 <p>活動内容について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者等には研修の機会があるものの、末端の支援員が学ぶ機会や交流する機会がないので、交流会を小刻みにしていくと良い。身近に機会があるとモチベーションアップにつながる。 ・勤続年数が長い人には共感されにくい悩みもあつたりして、新入支援員の交流があれば、早期離職防止にもなる。 ・事業所が増えたせいか、支援機関と事業所の交流も少なくなってしまった。コロナも相まって縁が切れてしまったように感じる。支援機関は人に依存している一面もあり、異動でいなくなると急に関りがなくなるような状況になる。社会資源として継続した付き合いをしていけるよう体制を組んでいくことを考えられると良い。 ・気楽に連絡できる関係づくりを。 <p>福祉計画の見直しについて</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会本会議に提案されて終わりっていうのではなく、落とせるものは「一回部会に落としてから吸い上げるような形になると良い。 ・皆自分たちの意見を反映して欲しいのと同時に、市がどのように今後の計画を考えているのか少しでも把握したい気持ちがある。こう考えているという話があると良い。 		
次回	令和5年2月頃		